

## 核抑止論からの脱却を！ 長崎と共に平和の一步を踏み出していこう！

JR総連九州地協は、8月8日に連合主催「被爆 79 年 連合 2024 平和ナガサキ集会」にJR貨物労組としJR西労の仲間を含めて総勢 25 名で参加しました。

平和集会に先立って、長崎原爆資料館で原爆の悲惨さと歴史を学んだあと、爆心地である長崎平和祈念公園に赴き、平和祈念像の意味（右手が原爆の脅威、左手は平和の意味をなしている）を学びました。そして、職場の組合員が作成した千羽鶴を寄贈し、原爆でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、黙とうを捧げました。



「被爆 79 年 連合 2024 平和ナガサキ集会」では、国際社会でのロシアの核兵器使用の威嚇や各国の核戦力強化に世界の平和が脅かされていることへの危機感と「核抑止論からの脱却」のために日本政府が自らの役割と責任を強く果たすことを強く求めました。

先日の広島平和式典後、広島県内の被爆者団体の代表らと岸田首相が面会し、2025 年に米ニューヨークで開かれる核兵器禁止条約の第3回締約国会議へのオブザーバー参加や条約への署名・批准を求めましたが、岸田首相は「核兵器のない世界にむけて前進していきたい」と述べるに留まり、被爆者たちの思いを踏みにじりました。



JR総連は、広島に引き続き長崎でも原爆の悲惨さを学び、戦争がなぜ起きるのかを労働組合として考え、抵抗とヒューマニズムを基底に、粘り強く反戦・平和運動を展開していきます！